

選挙

生徒会発足へ

集う 7 人の候補者たち

自身が感じた課題の解決誓う



発行所
網走南ヶ丘高校
報道局
発行責任者
歌丸 昊成

生徒会選挙
9月20日
7限目実施

9月20日の7時間目、生徒会選挙が行われる。現生徒会役員の2年次生2名と、新たに2年次生2名、1年次生3名が次期生徒会役員に立候補した。報道局はこれからの南高を担うであろう7名に公約と意気込みを聞いた。

副会長候補



みやもと はるあき
1年C組 宮本温光

手軽な「デジタル目安箱」の設置

以前にも生徒会役員を務めたことがあるという宮本さん。「かつての経験を活かし、安心して過ごせる学校を作っていきたい」と意気込みを語る。また、「様々な視点から物事を考えられるので、人の立場に立って思考することも得意」と自身の強みを述べる彼は、「周りの意見をよく聞きながら「自分の意見をしっかりと持つ」という二つのことを両立したい」という目標を掲げた。

副会長候補



しらき がくたろう
2年A組 白木楽太郎

生徒に寄り添えるように

「朝、昼休み、放課後等のスマホ使用の許可」や「体育後、部活後のジャージ着用を許可にしたい」と大きな公約を掲げた白木さん。「柔軟な発想ができ、生徒に対しての共感能力が高い」と自身の強みについて語った。意気込みについて、「南高を過ごしやすい学校にできるよう、行動に移していきたい」と述べた。

また、「生徒によりそえるような公約や考えを発信できる役員になりたい」と語気を強めた。

会長候補



こんどう あらた
2年D組 近藤新

一体感のある生徒会に

前年副会長を務めた経験を生かし、学校をより良いものにしたと近藤さんは語る。選挙公約には夏期略装期間でのジャージ登校の許可や授業中の水分補給の常時許可などを掲げており、今年の夏問題となったことを生徒目線から具体的に解決しようという意気込みがみられた。

自信の強みは責任感が強いところだと語り、生徒会を一体感のあり協力しあえるものにしたいと熱弁した。

会計候補



おおにし まや
1年A組 大西麻彩

全てのことを丁寧に

「どんな人とも積極的なコミュニケーションを取れる」と大西さんは自身の強みについて述べる。

そんな彼女は「まだ南高生になって半年でわからない部分もあるが、どんな仕事も丁寧に全力で取り組み、生徒の声に耳を傾け寄り添っていきけるような役員を目指し、この学校をさらに良くするために尽力していきたい」と少し不安な様子を見せながらも、自身の具体的かつひたむきな目標を語った。

会計候補



かわた しおり
2年B組 河田肇

生徒の声を聞き入れるように

責任感があり、1年間の生徒会としての活動の反省を生かせる」と自身の強みについて話した河田さん。「やると決めたからには最後まで全力でいきたい」と意気込みを語った。

また、「生徒の声を聞き入れることのできる役員になり、全校生徒で南高をより良い学校にしたい」と気持ちのこもった言葉でインタビューを終えた。

書記候補



やまうち よしの
1年D組 山内美乃

挨拶で学校を明るく

山内さんは「挨拶できる人を増やす」を公約としており、そのために、学校祭で先生活を含め、学年を超えた交流を可能とする生徒会企画を行うつもりであるという。

「折衷案」の考案を特技とし、抵抗のないコミュニケーションをとる彼女は、その長所を活かし「行事を円滑に進行できるように、生徒・先生方と連携をとることを意識した生徒会活動をしていきたい」と生徒会活動への意気込みを語った。

書記候補



たちぎ るな
2年D組 栃木琉那

他年次との交流を

生徒会役員に立候補するのは初めてだという栃木さん。「生徒との距離が近く、意見しやすい関係を築きたい」と意気込みを語った。

また、他年次との交流強化などの公約を掲げていることから、コミュニケーションに重点を置いた方針であることが読み取れる。自身の強みであるという柔軟性を活かし、より良い学校を作り上げてくれることを期待したい。